

それぞれの源氏物語

特設展



与謝野晶子・谷崎潤一郎・円地文子・
瀬戸内寂聴・田辺聖子・林望・林真理子ほか

令和5年

10月28日(土) - 12月17日(日)



そのことばのつづきへ

山梨県立文学館

Yamanashi Prefectural Museum of Literature

[A] 与謝野晶子『新訳源氏物語』上巻・中巻・下巻一・下巻二 1912(明治45)年6月7版・7月再版・1913(大正2)年8月・11月 金尾文淵堂 装幀・挿絵:中澤弘光 山梨大学附属図書館 近代文学文庫蔵 [B] 樋口一葉田蔵 北村季吟『湖月抄』 [C] 円地文子『源氏物語』巻一 1972(昭和47)年9月 新潮社 装画・題字:高山辰雄 [D] 田辺聖子『新源氏物語』(一) 1978(昭和53)年11月 新潮社 装幀・挿画:岡田嘉夫 [E] 瀬戸内寂聴『源氏物語』巻一 1996(平成8)年12月 講談社 装幀 辻村益朗 [F] 谷崎潤一郎『潤一郎新訳源氏物語』全12巻 1951(昭和26)年5月~1954年12月 中央公論社 装幀:前田青邨

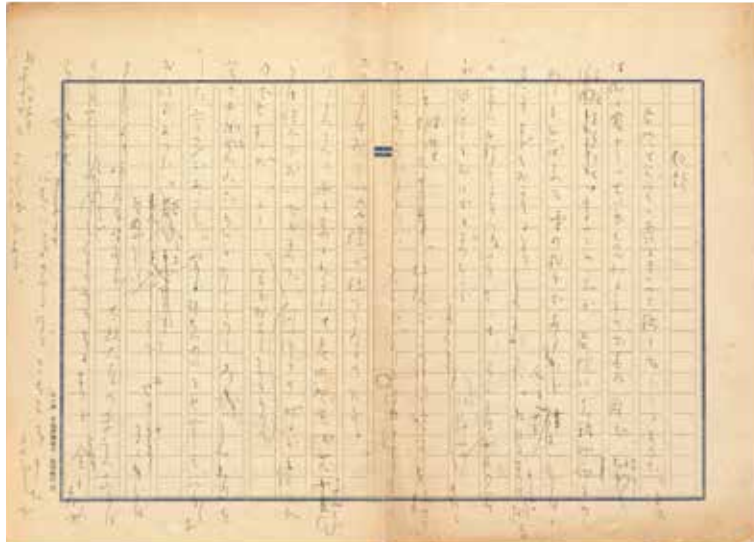
それぞれの源氏物語

世界最古の長編小説と言われる「源氏物語」は、後世の文学、美術に多大な影響を与え、時代を超えて人々を惹きつけてきました。本展では、与謝野晶子、谷崎潤一郎、円地文子、瀬戸内寂聴、林真理子など、近代以降、多くの作家が挑んだ「源氏物語」の現代語訳を、その魅力とともに紹介します。



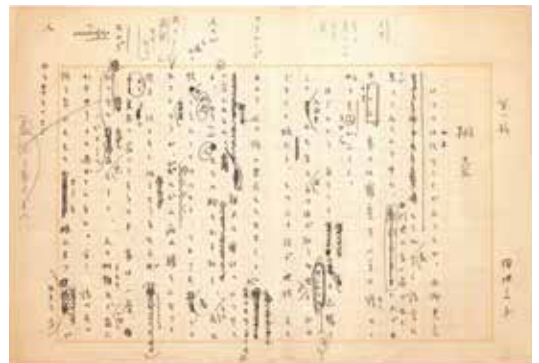
谷崎潤一郎「奥書」原稿

『潤一郎訳源氏物語』巻二十六(1946年7月中央公論社)収録。戦前から戦後にかけて刊行された『潤一郎訳源氏物語』(全26巻)は、時局の影響で削除や改変を強いられた。その後、全面的に改稿し「新訳」として1951年から1954年まで全12巻の現代語訳を刊行した。



与謝野晶子「源氏物語」朝顔 草稿

「源氏物語」第二十帖「朝顔」の現代語訳。晶子は幼い頃から「源氏物語」に親しみ、生涯において3度の「源氏物語」現代語訳を試みた。やさしいことばに訳された作品は、現代まで版を重ね読み継がれている。



円地文子「源氏物語」桐壺 原稿 個人蔵

円地文子は、「源氏物語」現代語訳に5年近くかけて取り組み、全10巻(1971年～1973年 新潮社)を刊行した。序文には「現代の読者に出来るだけ気難かしくない言葉で語りかけたい」とある。

関連イベント

朗読公演

紺野美沙子の朗読座「源氏物語～紫のゆかりの物語～」

10月29日(日)午後1時30分～午後3時20分
出演:紺野美沙子(俳優)、中井智弥(二十五絃箏者)
会場:講堂 定員500名

講演会 『源氏物語』その面白さの秘密

11月11日(土)午後1時30分～午後3時
講師:林望(作家・国文学者) 会場:講堂 定員500名

講演会 樋口一葉の和歌と「源氏物語」

12月9日(土)午後1時30分～午後3時
講師:兵藤裕己(学習院大学名誉教授)

会場:講堂 定員250名
※朗読公演会、講演会は参加無料、電話またはホームページ「イベント」欄の申込フォームからお申込ください。先着順。

「つまみ細工で梅アクセサリを作ろう」

12月17日(日)午後1時30分～午後3時30分

講師:飯島 薫(つまみ細工作家)

会場:研修室 定員:20名(小学生以上) 材料費:500円
※11月1日(水)よりお電話でお申込ください。先着順。

年間文学講座

●講座1 「『源氏物語』須磨・明石」巻一光源氏の挫折と復活を周辺人物との関わりから読む一

10月28日(土)光源氏と桐壺院・朱雀帝・弘徽殿太后
(申込開始日 10月14日)
11月25日(土)光源氏と明石の上
(申込開始日 11月11日)
午後2時～午後3時30分
講師:池田高隆(山梨大学名誉教授)
会場:講堂 定員:100名

●講座2 「近代文学における「光源氏」的な男たち」

11月10日(金)谷崎と源氏物語(申込開始日 10月27日)
12月8日(金)谷崎潤一郎「台所太平記」文豪最後の夢

(申込開始日 11月24日)

午後2時～午後3時30分
講師:古川裕佳(都留文科大学教授)
会場:研修室 定員:100名

●講座3 山梨の文学

11月12日(日)「源氏物語」現代語訳のたのしみ
(申込開始日 9月12日)
午後2時～午後3時10分
講師:中野和子(当館学芸員) 会場:研修室 定員:60名

※年間文学講座は受講無料、お電話にてお申込ください。先着順。各回、申込開始日が異なりますのでご注意ください。

●閲覧室資料紹介「平安文学—源氏物語を中心に—」

会期:10月28日(土)～12月17日(日)
会場:1階閲覧室
「源氏物語」やその周辺資料、解説書などの幅広い資料を紹介いたします。資料は手にとってご覧いただけます。入場無料

[休館日] 月曜日(11月20日は開館)、11月21日(火)
[開館時間] <展示室>9:00～17:00(入室は16:30まで)
<閲覧室>9:00～19:00(土・日・祝日は18:00まで)

[観覧料] 常設展観覧料でご覧いただけます。
一般330(260)円/大学生220(170)円
※()内は20名以上の団体料金、県内宿泊者割引料金です。
※高校生以下の児童・生徒、65歳以上の方、障害者手帳をご持参の方及びその介護をされる方は無料。
※11月20日(月)県民の日はどなたでも無料。

ミュゼ・マルシェ2023

おいしいもの、かわいいもの、たのしいものが芸術の森公園に集まります。
11月18日(土)・19日(日)10:00～15:30 場所:山梨県芸術の森公園

交通のご案内

JR中央本線甲府駅より

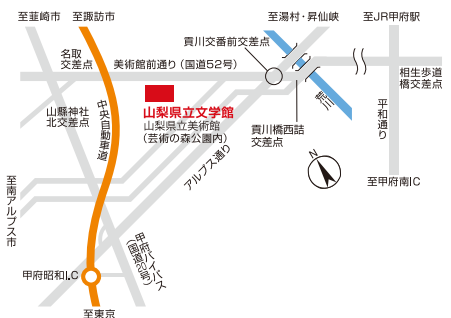
●甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より
御勅使・竜王駅経由由敷島営業所・大草経由由
荏崎駅・黄州団地各行ききのバスで約15分、「山梨
県立美術館」下車。

※甲府駅からのバスの時刻表は(山梨交通HP)
よりお調べいただけます。

●タクシーで約15分。

中央自動車道甲府昭和インターチェンジより

●料金所を昇仙峡・諏訪方面へ出て、200m先を
左折、西条北交差点左折、アルプス通りを約
2km直進、真川交番前交差点を左折、国道52号
を約1km、左側。



そのことばのつづきへ
山梨県立文学館
Yamanashi Prefectural Museum of Literature

〒400-0065 甲府市貫川1-5-35
Tel 055-235-8080 Fax 055-226-9032
<https://www.bungakukan.pref.yamanashi.jp/>



公式SNS

